

## 平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エイアンドティー  
 コード番号 6722 URL <http://www.aandt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 磯村 健二  
 (氏名) 吉村 佳典

TEL 045-440-5810

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第3四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	5,997	△2.4	218	△57.6	196	△60.8	140	△56.4
24年12月期第3四半期	6,145	15.6	515	83.0	501	87.8	321	142.8

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	22.42	—
24年12月期第3四半期	51.40	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年12月期第3四半期	8,998	4,280	47.6	684.10
24年12月期	9,336	4,197	45.0	670.82

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 4,280百万円 24年12月期 4,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	3.9	630	△16.8	600	△18.8	420	△13.4	67.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	6,257,900 株	24年12月期	6,257,900 株
25年12月期3Q	998 株	24年12月期	940 株
25年12月期3Q	6,256,907 株	24年12月期3Q	6,256,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(5) セグメント情報等 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、新政権が掲げた長期デフレ脱却のための財政出動、金融緩和、成長戦略の政策により、円安、株高の基調となり緩やかな回復傾向にあります。一方で、米国の財政緊縮、債務上限問題、欧州債務問題や中国経済の動向等、海外景気の下振れ懸念は、国内景気を下押しする不安要因となっております。

国内におきましては、少子高齢化の進展等により、医療費の増加傾向が見受けられます。このような環境下において、政府は「医療イノベーション5か年戦略」を昨年6月に策定し、ものづくり力を生かした革新的医薬品・医療機器・再生医療の開発を推進しております。また海外市場におきましても、日本の高度な技術を有する医療に対して需要が高まっており、日本の医療産業の市場を広げ、さらなる成長を目指すことが期待されております。

このような事業環境のもと、当社は幅広い部門で人員を補強するため20名の新卒者を採用し、人材育成に努めております。さらに顧客情報管理の最適化を図るため、社内システムを6月より刷新いたしました。これにより、各製品の新規顧客獲得と既存顧客の更新需要取り込みを努めてまいります。また、血液検査事業を主体とするOEMビジネスにつきましては、新たなOEM先の開拓、既存のOEM先との関係強化を継続して進めております。また、各製品の薬事・安全・品質管理の機能強化のため、技術本部品質管理グループ、コンプライアンス統括室薬事管理チーム及び品質保証チームを集約し、取締役会直轄の品質保証室を新設いたしました。また、当社をより理解してもらうため、ホームページを全面刷新いたしました。

海外展開につきましては、当社は2012年2月に中国の瀋陽東軟医療系統有限公司との間で設立・営業開始した合弁会社東軟安德医療科技有限公司（以下、東軟安德）を通じたOEMビジネスの確立を進めております。現在、東軟安德は自社開発製品及び当社製品のOEMによる販売製品のラインナップを増やす準備を進めており、自社開発の状況につきましては、生化学分析装置の販売許可を取得し販売活動を開始いたしております。現地の自社試薬工場の立ち上げは中国当局からの承認の遅れ等により難航しております。一方、当社製品のOEM販売体制の構築状況につきましては、製品販売に必要な中国当局の薬事承認の取得が遅れておりますが、主要な製品につきましては、2013年の年末には販売許可が取得できる見込みとなっております。その影響で、当第3四半期累計期間において、特筆すべき販売実績はございません。今後は、当社OEM製品の販売許可の取得、それに伴う現地の拡販体制の構築を推進してまいります。その他の海外OEMビジネスの状況につきましては、新たな提携先である米国ABBOTT社へ検体検査自動化システムの一部製品について供給を開始いたしております。

国内販売につきましては、検体検査装置は主なOEM先である日本電子株式会社からの受注・売上が低調に推移いたしました。また、臨床検査試薬は主に直販での大型施設の他社試薬への切替えや主要なOEM先への販売が低調に推移いたしました。一方、営業・システムエンジニアの増強等により、臨床検査情報システムの販売が堅調に推移いたしました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,997,476千円（前年同期比2.4%減）となりました。また、利益面におきましては、各製品における値引対応や一部の消耗品在庫部材の評価減に加え、検体検査自動化システムの新バージョンCLINILOG V4において、他社との競争激化等により大型案件の採算性が悪化いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、主に開発人員の増員とコア技術である電解質、グルコースセンサーの品質強化のための費用計上が増加いたしました。一方、新製品の開発に一定の目処がついた開発業務委託費を削減することで販売費及び一般管理費の増加を抑制いたしました。その結果、営業利益は218,528千円（同57.6%減）、経常利益は196,590千円（同60.8%減）、四半期純利益は140,286千円（同56.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末9,336,389千円と比べ337,601千円減少し、8,998,788千円となりました。流動資産は同255,138千円の減少、固定資産は同82,463千円の減少となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が630,186千円増加した一方、受取手形及び売掛金が1,139,413千円減少したことによるものです。固定資産減少の主な要因は、投資その他の資産が62,808千円減少したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末5,139,101千円と比べ420,656千円減少し、4,718,445千円となりました。流動負債は同777,472千円の減少、固定負債は同356,816千円の増加となりました。流動負債減少の主な要因は、賞与引当金が136,246千円増加した一方、短期借入金300,000千円、支払手形及び買掛金が235,656千円減少したことによるものです。固定負債増加の主な要因は、長期借入金360,000千円増加したことによるものです。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末4,197,288千円と比べ83,054千円増加し、4,280,342千円となりました。純資産増加の要因は、利益剰余金が65,203千円増加したことによるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の業績予想につきましては、年度末に大型案件の受注が集中しております。従って、当第3四半期における業績は概ね計画の範囲内で推移していることから、前回（平成25年8月5日発表「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」）の業績予想から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	723,732	1,353,918
受取手形及び売掛金	3,442,072	2,302,659
商品及び製品	334,498	467,744
仕掛品	481,254	453,556
原材料及び貯蔵品	539,574	589,289
その他	175,383	273,755
貸倒引当金	△1,376	△921
流動資産合計	5,695,140	5,440,002
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	684,384	663,307
土地	1,356,626	1,356,626
その他(純額)	332,281	319,499
有形固定資産合計	2,373,292	2,339,433
無形固定資産		
投資その他の資産	150,881	165,083
関係会社出資金	377,956	377,956
その他	766,790	703,982
貸倒引当金	△27,671	△27,671
投資その他の資産合計	1,117,075	1,054,267
固定資産合計	3,641,248	3,558,785
資産合計	9,336,389	8,998,788
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	945,647	709,991
短期借入金	1,960,000	1,660,000
未払法人税等	119,309	2,522
製品保証引当金	94,841	46,640
賞与引当金	5,688	141,934
その他	676,657	463,584
流動負債合計	3,802,144	3,024,672
固定負債		
長期借入金	1,260,000	1,620,000
資産除去債務	5,181	5,245
その他	71,775	68,527
固定負債合計	1,336,956	1,693,772
負債合計	5,139,101	4,718,445

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	577,610	577,610
資本剰余金	554,549	554,549
利益剰余金	3,061,725	3,126,928
自己株式	△456	△521
株主資本合計	4,193,429	4,258,566
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,858	21,776
評価・換算差額等合計	3,858	21,776
純資産合計	4,197,288	4,280,342
負債純資産合計	9,336,389	8,998,788

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,145,137	5,997,476
売上原価	3,004,895	3,195,636
売上総利益	3,140,241	2,801,840
販売費及び一般管理費	2,625,136	2,583,311
営業利益	515,105	218,528
営業外収益		
受取利息	32	28
受取配当金	500	650
投資不動産賃貸料	7,464	4,147
その他	2,202	5,409
営業外収益合計	10,199	10,234
営業外費用		
支払利息	15,843	24,130
その他	7,556	8,043
営業外費用合計	23,399	32,173
経常利益	501,904	196,590
特別利益		
出資金売却益	—	1,722
特別利益合計	—	1,722
税引前四半期純利益	501,904	198,312
法人税等	180,290	58,026
四半期純利益	321,614	140,286



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社の事業形態は、主として臨床検査に関する製品及びサービスを顧客に提供する単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。